

殺虫剤

クロルピリホス粒剤

農林水産省登録 第21269号

サンケイ

性 状：淡赤色粒状

ダーズバン™ ベイト

毒 性：普通物

有効年限：4年

有効成分：クロルピリホス (PRTR・1種249) ……1.0%

包 装：2kg袋×8

特 長

ダーズバン™は、ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シーの登録商標です。

- コオロギ類 (エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、ハラオカメコオロギ等)、ネキリムシ類 (カブラヤガ、タマナヤガ)、オカダンゴムシに適用があり殺虫スペクトラムが広いです。
- ベイト剤の誘引作用と有効成分クロルピリホスの速効的な殺虫作用により優れた食毒効果を発揮します。
- 安定性に定評のある有効成分クロルピリホスを配合しており、優れた被害防止効果が期待できます。
- 株元に処理するだけで省力的な害虫駆除ができます。
- 作物に対して薬害の心配が少ない製剤です。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルピリホスを含む農薬の総使用回数
キャベツ	ネキリムシ類	3kg/10a	定植時	3回以内	株元処理	3回以内
	オカダンゴムシ		は種又は 定植時～生育初期			
			定植時			
コオロギ類	定植時～生育初期					
はくさい	ネキリムシ類		定植時	1回		
	オカダンゴムシ					
だいこん	ネキリムシ類	収穫7日前まで				

使用上の注意事項

- 作物体上から作物の地際の表面に散布してください。
- 雨や水がかかると効果が減少するので、圃場や庭では降雨の予想される時の使用はさげ、温室では処理後2～3日は灌水がかからないように注意してください。
- 間引き菜、つまみ菜みは使用しないでください。

安全使用上の注意事項

- 本剤の解毒剤としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

水産動植物に係る注意事項

- 本剤は水産動物に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入する恐れのある場所では使用しないでください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●作物に対する安全性

使用時期（作物ステージ）	薬害が認められなかったキャベツ品種
育苗期 （発芽揃期～本葉2葉期）	金春、四季獲り、YR錦秋強力152号
定植期 （本葉3～7葉期）	アーリーボール、おきな、輝、金系201号、金春、四季獲り、新若夏、早秋、春汐、YR錦秋強力152号

通常の使用方法では、薬害発生事例は認められておりません。

●キャベツのコオロギ類に対する防除効果

平成12年 日本植物防疫協会研究所
 対象害虫 コオロギ類（エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ）放飼
 処理月日 平成12年9月6日

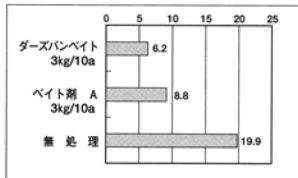
薬剤名	処理量	キャベツ 食害度		
		処理1日後	処理2日後	処理6日後
ダズバンベイト	3kg/10a	0	0	0
ベイト剤 A	4kg/10a	0	8.3	10.4
無処理	—	43.8	85.4	100

[考察] 対照薬剤とほぼ同等で、無処理と比較しても高い防除効果が認められた。
 実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。

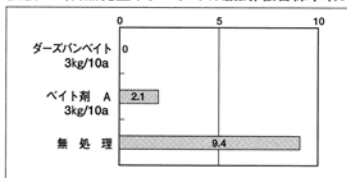
●キャベツのネキリムシ類に対する防除効果

平成12年 北海道立花野菜技術センター
 対象害虫 ネキリムシ類（カブラヤガ、タマナヤガ）試験Ⅰは中発生、試験Ⅱは少発生
 処理月日 試験Ⅰ：平成12年7月11日、試験Ⅱ：平成12年8月10日
 調査月日 処理20日後に被害株率を調査

試験Ⅰ（自然発生）被害株率（%）



試験Ⅱ（自然発生十タマナヤガ放飼）被害株率（%）

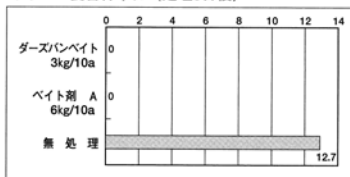


[考察] 対照薬剤より優れた防除効果を示し、実用性があると考えられる。
 薬害は認められなかった。

●キャベツのオカダンゴムシに対する防除効果

平成12年 日本植物防疫協会研究所 宮崎試験場
 対象害虫 オカダンゴムシ 放飼
 処理月日 平成12年4月18日（発芽揃期）

キャベツ食害株率%（処理3日後）



[考察] 対照薬剤と比較して、同等の高い防除効果が認められた。
 実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。